

東日本大震災 宮城県南三陸町における 災害医療活動報告

南三陸町医療統括本部責任者
宮城県災害医療コーディネーター
公立志津川病院 内科診療部長
現公立南三陸診療所 西澤匡史

宮城県南三陸町



南三陸町



南三陸町の被災状況

被災前

- 人口17666人
- 世帯数 5362戸

被災後(5月7日現在)

- 避難者数 5461人(ピーク時10000人)
- 死者 509名 行方不明者数 664名
- 被災世帯数 3877戸(全体の72%)
- 市街地の浸水率 48%
(海岸から3km内陸まで浸水)

南三陸町のライフラインの被害状況

- 地震直後より停電。(復旧は35日後)
 - 断水(復旧は約3カ月後)
 - 携帯電話(震災翌日朝に基地局ダウン)
- ↓
- 一部の避難所のみ、7~10日後に自家発電使用
 - 給水も7~10日後より開始
 - 一部の避難所のみ約2週間後より、移動基地局設置(メール、ネットの使用可能となる。)

南三陸町の医療関連情報の被害状況

- 役場の流失により、戸籍、介護保険に関する情報を全て消失
 - 全医療機関の壊滅的な被害により、カルテを消失し、患者情報のすべてを失う
- ↓
- 保健師による全戸訪問調査
 - 医療支援チームによる訪問診療と情報収集



被災前の南三陸町の医療機関

- ・志津川地区 5医科診療所
公立志津川病院(126床)
(内科、外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、総合診療科、歯科口腔外科)
- ・歌津地区 1医科診療所

被災後 全医療機関壊滅的被害



公立志津川病院

公立志津川病院



- 3階病棟 1階
- ・5階の床まで波が押し寄せた
→300名が屋上へ避難
- ・入院患者109名中74名死亡
- ・職員3名死亡

災害医療

- (1) 災害後超急性期(災害発生～2日)
- (2) 災害後急性期(2日～1週間)
- (3) 災害後亜急性期(1週間～1か月)
- (4) 災害後慢性期(1か月～)

災害医療超急性期

- 医療者の対応
- ・ 救護所の立ち上げ
 - ・ 多数の避難者のトリアージ
- 対象疾患
- ・ 多発外傷・肺炎・低体温症
- 問題点
- ・ あらゆる物の不足(薬剤・医療スタッフ・食糧・情報等)
 - ・ 限られた搬送手段(ヘリ搬送のみ)



災害医療急性期

医療者の対応

- 透析・在宅酸素療法利用患者の搬送
- 慢性疾患に対する投薬
- 各避難所の情報収集
- 医薬品等の要請
- 医療チームの受け入れ、配置

対象疾患

- 透析・在宅酸素利用患者・精神疾患・妊婦
- 慢性疾患(高血圧・高脂血症・糖尿病等)

問題点

- 急激な医療チーム・医薬品の集中
- 医療資源・情報の整理(薬剤師・事務員の不足)

朝のミーティング風景

全国から集った約20の医療支援チームが
毎朝7時半に集し情報を共有

医療支援チームの配置

- 約50避難所のうち、地元医師が常駐している4地区および地元看護師のみが常駐している8地区を除く避難所への巡回診療を優先
- 診療とともに、道路状況、避難所の情報収集を行った
- 全ての避難所への巡回が終了したのち、民家避難者の医療ニーズの収集に変更

配置表(一部抜粋)

東北関東大震災における被災地における避難状況等表 平成23年4月29日現在

避難場所	避難 人数	避難 人数	支援 内容	所属 診療	備考	備 考
1 本荘東部			救急医療、救急搬送			避難所(1) 本荘東部
2 伊達市野田 北郷	100	100	救急医療、救急搬送			2/7日現在に巡回診療継続
3 伊達市野田 南郷	100	100	救急医療、救急搬送			2/7日現在に巡回診療継続
4 伊達市野田 東郷	100	100	救急医療、救急搬送			巡回診療中へ
5 伊達市野田 西郷	100	100	救急医療、救急搬送			巡回診療中へ
6 大島町東	100	100	巡回診療			
7 大島町西	100	100	巡回診療			
8 大島町南	100	100	巡回診療			
9 大島町北	100	100	巡回診療			
10 大島町中	100	100	巡回診療			
11 大島町南	100	100	巡回診療			
12 大島町北	100	100	巡回診療			
13 大島町中	100	100	巡回診療			
14 大島町南	100	100	巡回診療			
15 大島町北	100	100	巡回診療			
16 大島町中	100	100	巡回診療			
17 大島町南	100	100	巡回診療			
18 大島町北	100	100	巡回診療			
19 大島町中	100	100	巡回診療			
20 大島町南	100	100	巡回診療			
21 大島町北	100	100	巡回診療			
22 大島町中	100	100	巡回診療			
23 大島町南	100	100	巡回診療			
合計	2,135					

報告書

1 日付	
2 団体名	
3 活動名	
4 活動概要（被災者支援の中心となる活動は、1日でも早く被災者の生活に貢献します）	
5 被災者にしたこと	
6 今後の活動計画	

救護所薬局



災害後亜急性期

医療者の対応

- 医療の安定的提供（定期的巡回診療・医療チームの避難所常駐含む）

対象疾患

- 慢性疾患（高血圧・高脂血症・糖尿病等）
- 感染症（インフルエンザ・感染性胃腸炎等）

問題点

- ライフラインの復旧（電気・水道）
- 車・ガソリンの不足

仮設トイレ



自衛隊風呂



衛生物品配布



災害後慢性期

医療者の対応

- 地元医療機関の再開
- 通院への交通手段の確保
- 避難所診療所の集約化

対象疾患

- 慢性疾患(高血圧・高脂血症・糖尿病等)
- PTSD・不眠

問題点

- 慢性的な医師不足

イスラエル医療団



公立志津川病院仮設診療所



待合室

薬局



南三陸町におけるサービスの開始時期

- 3月下旬～訪問診療
- 4月1日～訪問看護
- 5月中旬～訪問入浴
- 6月中旬～町内でのデイサービス
- 7月中旬～町内での新規施設入所開始予定

今後の災害対策

- 衛星携帯電話の準備
- 携帯電話基地局の蓄電能力の増強
- 自家発電装置の準備
- 共同溝の整備
- 患者情報・戸籍情報などのバックアップ
- そもそも浸水が予想される場所に変電所、役場、病院などの主要な施設を作らないことが必要。